

CSR Report 2019

Corporate Social Responsibility



編集方針

当社はCSR経営方針に掲げた5つのテーマを重点課題と位置付け、さまざまな活動に取り組んでいます。このCSR報告書をステークホルダーの皆様との重要な企業コミュニケーション活動のツールとして考え、分かりやすくお伝えすることを目指して作成しています。
今後の活動の参考とさせていただくため、添付のアンケート用紙から皆様のご意見・ご感想をお寄せください。

対象期間 2018年4月1日～2019年3月31日

対象範囲 本社・開発本部・名古屋工場／菊川工場／磐田工場／掛川工場
中津川工場／唐津工場／栃木野木工場／東北日東工業(株)

発行時期・部署 2019年10月 広報室





Corporate Social Responsibility REPORT 2019

Contents

P. 3	ステークホルダーの皆さまへ
P. 4	CSRの考え方
P. 5	企業理念
P. 6	企業行動規範
P. 7	会社概要
P. 9	品質方針
P.10	環境方針
P.11	特集 地震の脅威から安全な暮らしを守る！
P.15	[お客様とともに]品質統括部
P.17	[お客様とともに]営業本部
P.19	[お客様とともに]開発本部
P.21	[従業員とともに]人事部
P.23	[取引先とともに]生産本部
P.25	[株主とともに]総務部
P.27	[地球環境のために]施設環境室
P.29	企業ガバナンス
P.32	安全・安心な職場づくり
P.33	社会貢献① ～アートをもっと身近に～
P.35	社会貢献② ～地域に“寄り添う”企業を目指して～

ステークホルダーの皆さまへ

To Stakeholders



お客様の未来に
「新たな価値」を届けられる
企業グループへ

取締役社長 CEO

佐々木 拓郎

人へ、社会へ。電気と情報を明日へつなげるために、私たちの技術があります。

1948年の設立以来、私たちは電気設備や機器の開発・提案を通じて
電気や情報のインフラを、毎日の暮らしから産業までのさまざまなシーンで
サポートしてきました。

これからも日東工業グループの「総合力」の強みを活かし、
社会の持続的な発展とおお客様の明るい未来へ寄り添える

「電気と情報を明日へつなげる価値創造企業」を目指して邁進していきます。



CSRの考え方

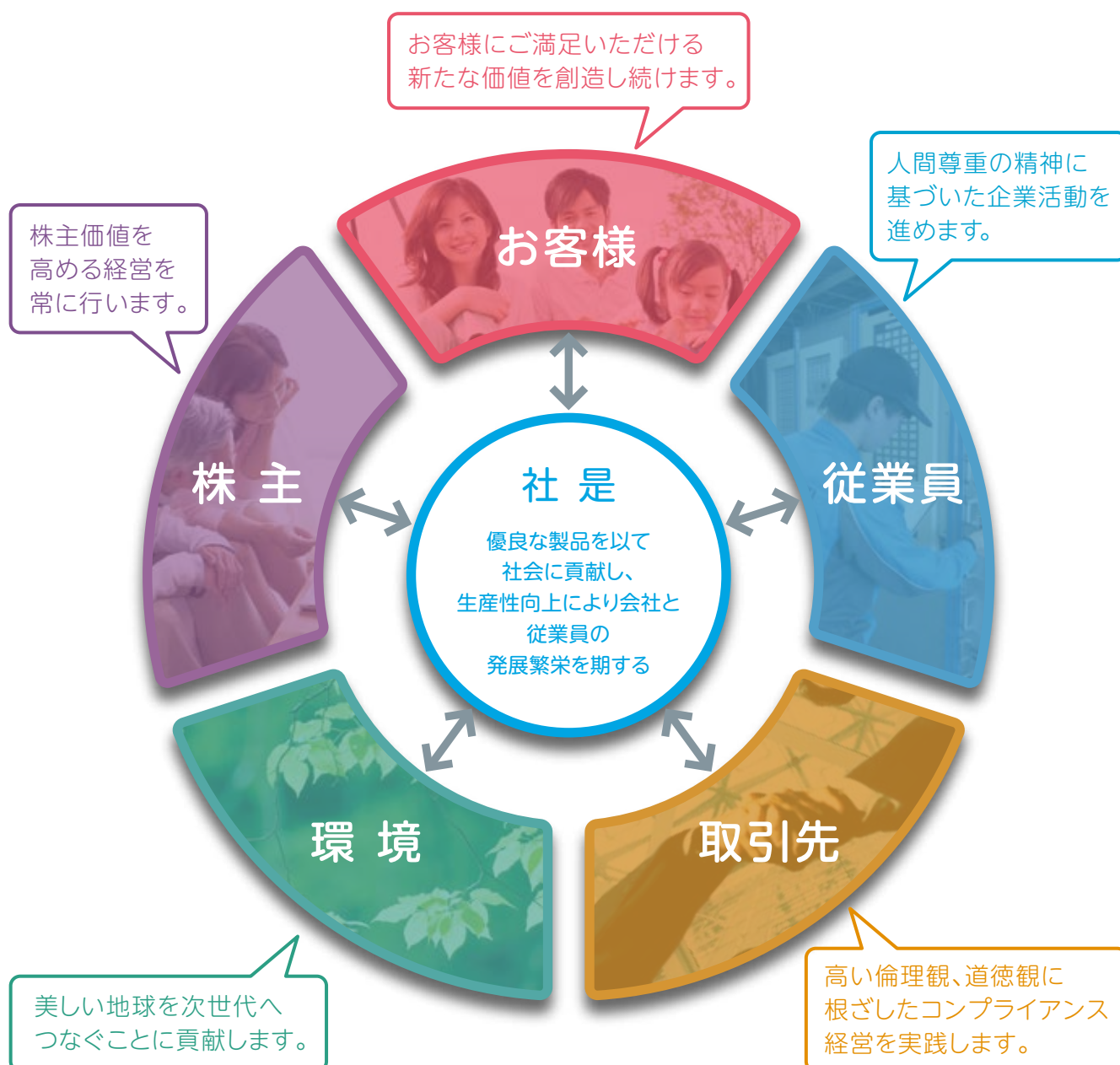
The Concept of CSR

当社は、設立以来「優良な製品を以て社会に貢献し、生産性向上により会社と従業員の発展繁栄を期する」を社是として、この思いを大切に、いつの時代も変わることなくお客様に喜んでいただける製品づくりを心がけてきました。

しかし、急速に変わる時代の流れとともに求められる価値が変わってきています。

わたしたちは、従業員ひとりひとりが同じ価値観を持ち、お客様や社会の皆様の声に耳を澄ませながら、自然や地域社会との共生を目指していきます。

さらに、日々の企業活動の中で、日東工業だからこそできる価値を追求し、**5つのCSR経営方針**を実践することで、「信頼、技術、貢献～電気と情報を明日へつなげる価値創造企業」として持続可能な社会の実現に貢献していきます。



企業理念

Corporate Philosophy

社 是

優良な製品を以て社会に貢献し、
生産性向上により会社と従業員の
発展繁栄を期する。

長 期 ビ ジ ョ ン

信頼、技術、貢献～
電気と情報を明日へつなげる価値創造企業

ス ロ ー ガ ン

CONNECT!

～電気と情報をつなぐ～

経 営 理 念

(CSR経営方針)

- お客様にご満足いただける新たな価値を創造し続けます。
- 人間尊重の精神に基づいた企業活動を進めます。
- 高い倫理観、道徳観に根ざしたコンプライアンス経営を実践します。
- 美しい地球を次世代へつなぐことに貢献します。
- 株主価値を高める経営を常に行います。





企業行動規範

Corporate Code of Conduct

項 目	主な内容
社会的規範の遵守	日東工業グループは、法令や社会的規範、社会的良識に基づいた事業活動を行います。
社会的に有用な製品・サービスの提供	日東工業グループは、安全性・環境保全などに十分配慮し、お客様に満足していただける優れた品質の製品・サービスを提供します。
公正な取引と健全な事業活動	日東工業グループは、公正かつ自由な競争の確保が、市場経済の基本ルールとの認識のもとに事業活動を行います。また、政治・行政との健全かつ正常で透明な関係を維持するとともに、社会的秩序や企業の健全な活動に悪影響を与えるあらゆる個人・団体とは一切係わりません。
企業情報の管理と公正な開示	日東工業グループは、保有する秘密情報や個人情報については、それらが漏洩することのないよう適切な情報管理を行います。会社情報の開示に関しては、必要と認められる情報を、株主・投資家はもとより広く社会に対し積極的に開示します。
知的財産の尊重	日東工業グループは、知的財産の重要性を認識し、その管理に細心の注意を払います。また、第三者の権利を尊重するとともに、自らの権利を守り防衛します。
環境保全への取り組み	日東工業グループは、事業活動を行うにあたり、資源の有効活用・再資源化・省エネルギー・廃棄物の削減・環境汚染の予防に努め、豊かで健康的な社会の環境作りに貢献します。
社会貢献	日東工業グループは、地域・社会との連携と協調を図り、良き企業市民としての役割を積極的に果たします。
安全で働きやすい職場環境の実現	日東工業グループは、社員のゆとりと豊かさを実現し、快適・安全で清潔な職場環境を確保するとともに、社員の人格・個性を尊重し、差別のない自由闊達で創造性の発揮できる企業風土を実現します。
国際ルールの遵守	日東工業グループは、事業活動にあたり国際ルールを遵守するとともに、諸外国の文化・慣習を尊重します。

会社概要

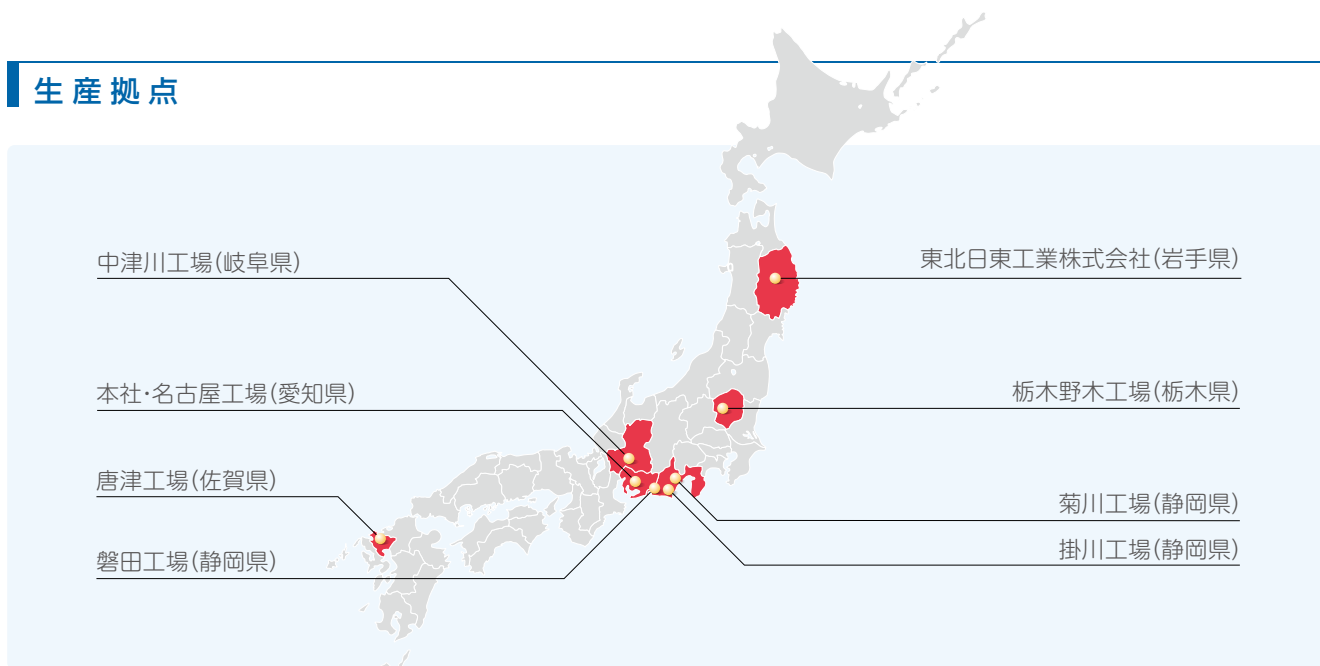
Company Overview

会社概要 (2019年3月31日現在)

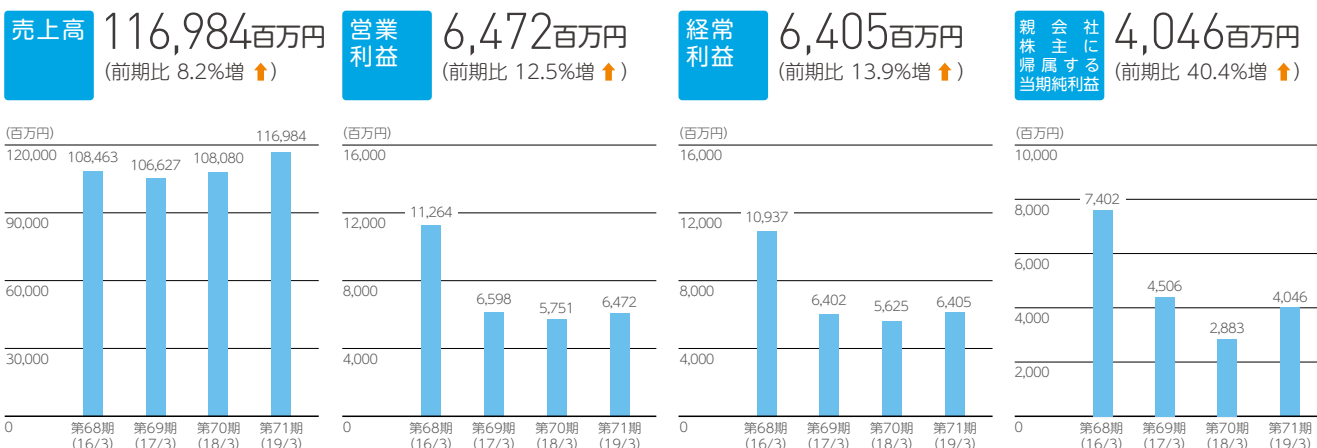
商号	日東工業株式会社
英文社名	NITTO KOGYO CORPORATION
本社	〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地
設立年月日	1948年11月24日
資本金	65億78百万円
従業員	連結 3,700名 単体 1,842名

事業内容	電気機械器具および その商品の製造ならびに販売 他
工場	名古屋、菊川、磐田、掛川、中津川、唐津、 栃木野木、東北日東工業(花巻)
主要営業所	札幌、仙台、さいたま、東京、横浜、静岡、 名古屋、大阪、京都、広島、高松、福岡など 全国45カ所※ ※ソリューション営業部を除く

生産拠点



財務データ (連結業績)





事業概要

配・分電盤

高圧受電設備 (キュービクル)



発電所から送られてくる電気は非常に電圧が高いため、これを一般的に使用されている電圧へ下げるための機器を箱に納めたもの。店舗などで使用される。

標準分電盤



電気を安全に使用するために必要なブレーカなどの機器を1つにまとめ、箱に納めたもの。

制御盤



工場内の機械やマンションの水タンク用ポンプなどを操作するための機器を箱に納めたもの。

電気自動車 (EV・PHEV) 用充電器シリーズ



※充電スタンドは、株式会社豊田自動織機と日東工業株式会社による共同開発製品です。

電気自動車 (EV)、プラグインハイブリッド自動車 (PHEV) を充電するために、電気を供給する充電器。

ホーム分電盤



住宅内の照明やコンセントに電気を供給する。電気の使い過ぎなど危険がある場合は自動的にブレーカを切る。

光接続箱



インターネットなどで使用する光ケーブル同士を繋いだ部分を守るための箱。

キャビネット

キャビネット



機器の収納、機器への接触防止などを目的とした箱。使用場所、条件によって、形状や材質が異なる。

プラボックス



用途はキャビネットと同じだが、材質がプラスチックの箱。軽量であり錆に強いなどの特長がある。

システムラック



インターネットやCATVなどに使われる通信機器を収納するための箱。

遮断器・開閉器

ブレーカ、開閉器・端子台



電線同士を接続する際に使用する機器。特にブレーカは電気を使い過ぎた場合などに自動で電気の流れを止める役割を果たしている。

パーツ・その他

熱関連機器



キャビネット・盤などの内部の熱を外部へ逃がすためのルーバー・換気扇や、内部を冷却するためのクーラなどがある。

盤用パーツ



分電盤に使用する銅バーや電力量計の数値を確認するための窓など、当社製品に使用されている部品をパーツ化したもの。

品質方針

Quality Policy

お客様に、当社製品を安全・安心にご利用いただけるように、日東工業グループでは「安全・安心な、より高い品質の製品・サービスをお客様に提供する」を品質方針として、お客様第一主義に基づくサービス体制を進めています。

品質方針

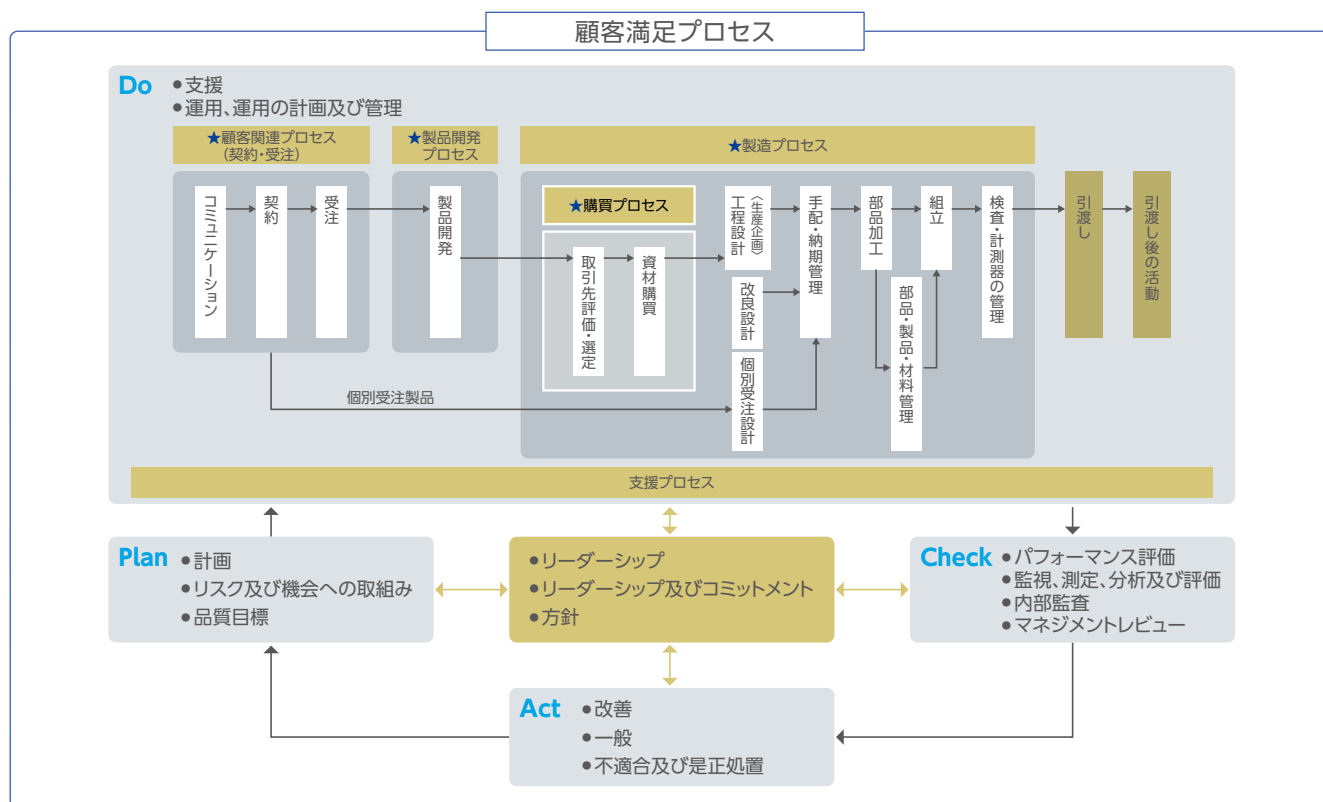
安全・安心なより高い品質の製品・サービスをお客様に提供する

品質目標

品質改善の推進

品質保証体制

お客様満足度向上を図るために、当社では「品質統括部」を設置し、社内規程に「品質・環境マニュアル」を定め、専門委員会（品質委員会）を通して、問題点の改善に向けたPDCAを回しています。



ISO9001の認証を取得

1997年7月4日に菊川工場で品質マネジメントシステムISO9001の認証を取得し、現在は、全工場（東北日東工業㈱を含む）・全営業所で取得しています。



品質教育

品質マネジメントシステムを実施し、お客様満足度を高めていくために、社員一人ひとりの能力向上は必要不可欠です。当社では、個々の能力に応じた教育カリキュラムを作成し、品質能力の向上を進めています。

教育内容	対象者
品質マネジメントシステム（一般教育・基礎）	新入社員・中途入社社員
品質マネジメントシステム（一般教育）	新任課長・所長
QC7つ道具	全社員
QCサークル研修	推進者・リーダー
ISO9001内部監査員資格取得教育	課長職
品質特別教育	関連部門
QC工程表のつくり方	関連部門
品質目標に関する教育	全社員



環境方針

Environmental Policy

当社では、1994年度に環境方針を策定し、以来、長期的な展望に立脚して環境保全活動に努めています。
2001年3月にISO14001の認証を受け、社会状況を鑑みながら環境方針も見直し、
2015年のISO14001改訂に伴い、2017年度からはリスクも考慮した活動へ発展させてきました。

環境方針

理 念

当社グループは、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、企業の自己責任として効率的な環境管理システムを構築し、事業活動・製品及びサービスの全ての活動において、「CO₂排出削減」「廃棄物の発生抑制」「人と自然との共生」を推進し、持続可能な社会の確立へ寄与します。

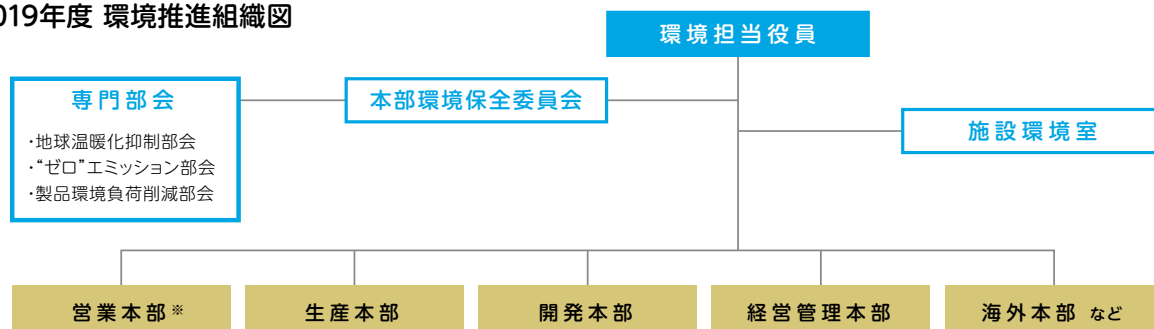
方 針

「環境に貢献する新たな価値をつくり出し、美しい地球を次世代につなぐ」

- 1 環境関連の法律・条例・協定等を遵守します。
- 2 事業活動、製品及びサービスの環境影響をライフサイクルで捉え、以下の環境目標を定め、環境保全型企業を目指します。
 - ・製品環境負荷の削減（エコ製品化）
 - ・有害化学物質の使用規制
 - ・地球温暖化の抑制
 - ・ゼロエMISSIONの定着・維持、排出物削減（発生抑制）
- 3 積極的な環境保護活動を推進し、下記のテーマに取り組みます。
 - ・お客様へエコ製品の提供
 - ・地域社会の一員として地域保全活動を通じ自然との調和を図ります。
 - ・環境に配慮した資材調達や物流を推進します。
 - ・環境汚染の予防に取り組み、安全・安心を地域社会に提供します。
- 4 環境に関する情報開示に努めます。
- 5 この方針を、役職員含むすべての業務従事者に周知し、展開します。

環境推進体制

■2019年度 環境推進組織図



※工場敷地内の営業所を対象としています。

特集

安全な暮らしを守る



大地震による電気火災を防ぐ感震ブレーカーの普及に向けて

今後、南海トラフ地震や首都直下地震などの巨大地震の発生が危惧されるなか、

自治体との防災対策の推進や国の重要文化財を守る取り組みなどにより、

地域社会の安全な暮らしを守るサポートを進めていきます。

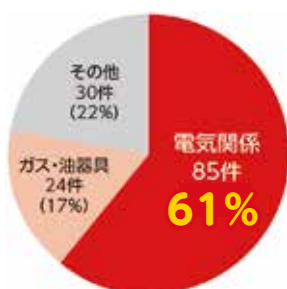
知っていますか？

過去の大きな地震で発生した火災の半数以上は、実は電気が原因です！
地震直後の火災はもちろん、電気が復旧した際に起きる
「復電火災」への対策も必要です。

過去の地震火災の原因 (出火原因が確認されたもの)

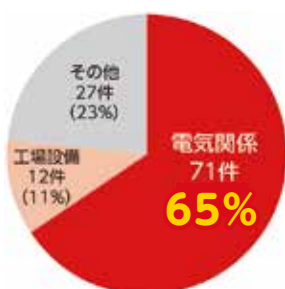
6割が電気火災

阪神・淡路大震災



合計139件

東日本大震災



合計110件

復電火災の例

停電が発生し、その後電気が復旧した際、可燃物が落下した電気ストーブや破損した電源コードなどに再び電気が通ることが原因で火災が起きる現象。



復電後、電気製品に落下した可燃物から発火



電源コードの被覆が破れて短絡(ショート)により発火

感震ブレーカーとは

地震が発生した際に設定値以上の揺れを感知したときに、ブレーカやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。

感震ブレーカーを設置していると、不在時やブレーカを切って避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。

さらに、「地震IoTユニット」と組み合わせることで、高密度な観測網の構築を可能にしたものが「高機能感震ブレーカー」です。





自治体とともに

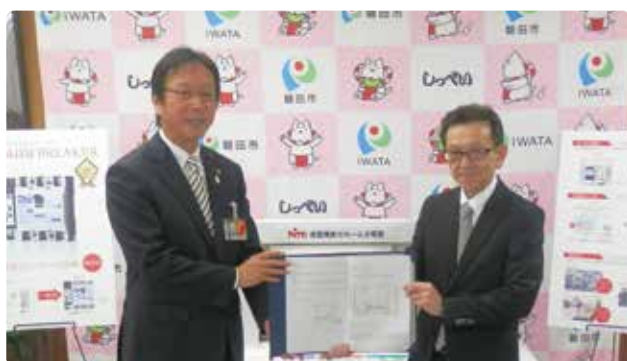
「災害対策及び災害対応への協力に関する協定」締結

日東工業は、静岡県掛川市をはじめ、静岡県磐田市、静岡県菊川市および愛知県長久手市において、地震、風水害及び火災等、さまざまな災害に対する平常時からの備えと災害発生時における市民の生命・財産確保のための応急対策に協力。官民一体となった地域社会のセーフティネットづくりを目指していきます。

協力の主な内容

- 感震ブレーカーの有効性等、防災機器に関する情報及び知識の普及
- 災害支援物資等の集積あるいは仮置場等に利用するための場所の提供
- フォークリフト、運搬用パレット等、運搬用資機材及びオペレーターの提供

など



静岡県磐田市 渡部市長(左)



静岡県菊川市 太田市長(右)



静岡県掛川市 松井市長(左)



愛知県長久手市 吉田市長(左)



「感震ブレーカー」の活用事例

TOPIC 1

IoTを活用した地域防災システムの実証プロジェクト ～ 静岡県掛川市 ～

静岡県掛川市内の掛川城天守閣や国の重要文化財である掛川城御殿を含む歴史的文化財など、24箇所にIoT技術を取り入れた感震ブレーカーを設置しています。IoTを活用して、各建物の震度3以上の揺れ・建物の傾きなどのデータを取得し、迅速な被害状況の把握、建物の簡易劣化診断などにより、今後の防災政策に活用するシステムを実証しています。

設置場所

- 掛川城天守閣
- 掛川城御殿（国の重要文化財）
- 大日本報徳社大講堂（国の重要文化財）
- 淡山翁記念報徳図書館（静岡県指定文化財）
- 仰徳学寮（静岡県指定文化財）

など



設置例

地域防災システム概念図



管理用アプリケーションイメージ

- 速報メール
- 情報共有
- 複数拠点の被害状況を即時把握
- 災害時優先点検箇所の特定
- 建物の危険度判断(将来)



掛川城御殿(静岡県)



掛川城御殿内部



薬の館(奈良県)

TOPIC 2

奈良県宇陀市松山地区に 感震ブレーカーを寄贈

公益社団法人日本建築家協会近畿支部奈良地域会の「伝統的町並み保全と防災」についての取り組みに賛同し、国の重要伝統的建造物群保存地区である奈良県『宇陀市松山地区』の家屋や店舗15箇所に感震ブレーカーを設置しました。

2017年1月に、『奈良県五條市五條新町』の重要伝統的建造物群保存地区にも「感震ブレーカー」を寄贈しており、同県内での取り組みは2例目です。



奈良県宇陀市松山地区



千軒舎



店舗への設置例



薬の館

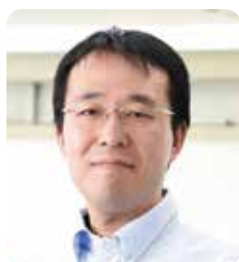


資料館への設置例



品質統括部 お客様とともに

お客様目線での 品質保証活動



私たちの想い

製品含有化学物質管理を通じて、
全てのプロセスをサポートします。

品質保証室 品質推進課 | 浦田 敦史

品質保証室では、RoHS指令を始めとする製品含有化学物質の規制に対し、当社が使用を禁止・管理すべき化学物質を定めており、日東工業が購入している製品及び部品への使用実態の把握・管理を行っています。これらの情報はデータベースで管理しており、開発・設計部門へ共有され製品開発に利用されています。また、お客様からの化学物質に関するお問い合わせには、非含有証明書などの有害物質情報を提供していますが、近年ではchemSHERPAを使用した調査の導入を進めており、常に最新の情報を管理できるよう取り組んでいます。

製品含有
化学物質
管理





品質組織改革

2018年4月の組織・機構改革にて品質保証部門を組織的に独立させました。
行動規範である「正直な心と誠実な姿勢を貫く」ことが組織的に実現できるように、
社員ひとりひとりの行動がお客様のための行動となるように活動しています。



品質統括部長 齊田 正一

2018
年度
実績

- 行為保証によるプロセス管理の強化
- 過去の事例を活用した品質予防活動の推進
- 小集団活動の活性化による品質改善の推進

2019
年度
目標

- 過去事例を活用した品質意識の向上
- グループ品質保証体制の確立
- 規格や法令に対する理解を深め、コンプライアンスの強化

》》 ヒューマンエラー予防

お客様からの不満足のご意見を分析すると、ヒューマンエラーが大きな割合を占めています。ヒューマンエラー撲滅を目指し、新たな手法「行為保証」に取り組んでいます。



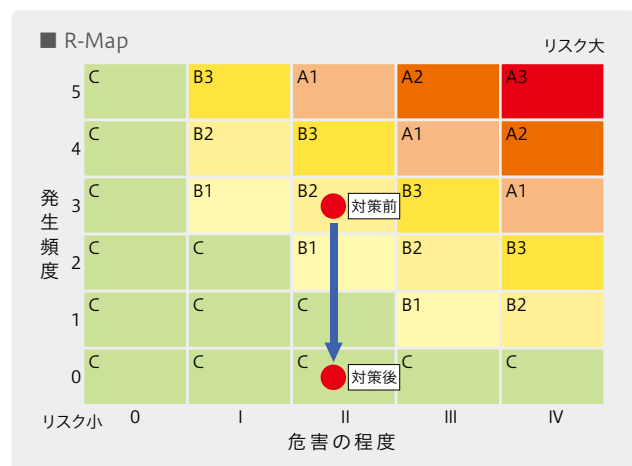
行為保証とは目的を持った動作の保証をするという考えで、作業に拘りを持って、生産を行っています。

- できれば管理からプロセス管理へ
- 品質ポイントの明確化と技術伝承
- 品質パトロールによる作業動作の確認

》》 製品リスク予防活動

お客様に安全・安心な、より高い品質の製品を提供するため、製造物責任法（PL法）などの国内外の法律や社会規格を守り、品質レベルの向上を図っています。

R-Mapによる分析手法を利用して、製品リスクアセスメントを実施し、リスクを下げる活動を行っています。



》》 充実した試験設備

耐震試験、風雨試験、日射試験をはじめとする最新の試験設備を使用し、製品の安全性や品質確認を実施しています。新製品開発時だけでなく、既存製品についても定期的に試験を実施し、信頼性の確認を行っています。



耐震試験



風雨試験



日射試験



営業本部 お客様とともに

お客様に、 より大きな満足を提供



名古屋営業所
小俣 圭介



名古屋営業所
奥田 純生

私たちの想い

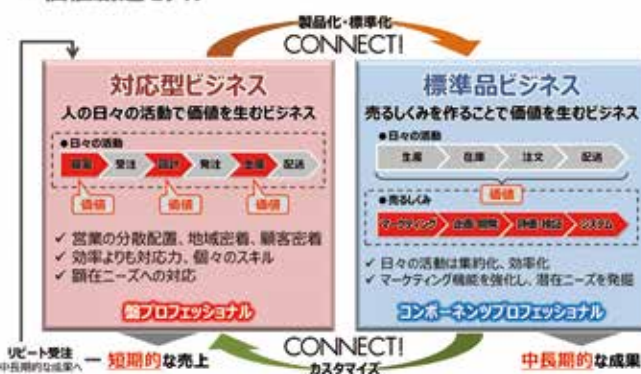
目指すは、お客様から頼られる
ベストパートナー

私たちは、お客様から常に声をかけていただける関係を目指しています。全国に営業所を構え、お客様へ製品をご提供するだけでなく、困りごとがあればすぐに駆けつけられる体制を構築しています。

お客様と一緒に悩み、考え、潜在的なニーズを探ります。その上で最適な製品をご提案します。ときには、当社開発者とともにお客様のもとへ訪問し、現場の声を製品開発に反映させる活動も行っています。このような活動により価値創造モデルを実現し、新しい価値をご提供しています。

ビジネスモデル 対応型ビジネス／標準品ビジネス

■ 価値創造モデル





幅広いお客様により大きな満足を提供し、企業価値を高めることを目指します。

CSR経営方針の「お客様にご満足いただける新たな価値を創造し続けます」を実現するために、幅広いお客様に、より大きな満足を提供し、企業価値を高めることを目指します。



営業本部長 里 康一郎

2018
年度
実績

- グループ会社との連携強化
- ソリューション営業によるご提案
- 宅配ボックスの普及への取り組み

2019
年度
目標

- Webツールによる顧客満足の向上
- マーケティング機能強化による顧客創造
- グループ会社との更なる連携強化

» グループ会社との連携強化

グループ会社と連携し、それぞれの強みとノウハウを生かすことで、太陽光発電を利用した独立電源システムを東京都檜原村にスムーズに設置することができました。

観光スポット「払沢の滝」など4か所に設置されており、個人携帯電話機などの充電が誰でも利用でき、夜間はLED照明が自動で点灯するため、『安心』を提供しています。日常時だけでなく停電発生時でも使用が可能です。

独立電源システムの導入で

- ① 個人携帯電話機などの充電
- ② Wi-Fi 電波の中継
- ③ 夜間のLED 照明

などが商用電源なしで可能となり、観光客への“おもてなし”に一役かっています。

- 日東工業(株)：製品の製造、販売
- 南海電設(株)：現場調査、セッティング、メンテナンス



■打ち合わせ風景



■独立電源システム
東京都檜原村設置事例

» ソリューション営業

お客様の現地分電盤内温度を実測して、分電盤、制御盤内の熱問題を熱計算プログラム、電気代試算書などで具体的な効果を数値化します。

環境に適した熱対策機器をおすすめし、「問題提起、提案、解決」の一連プロセスで熱ソリューションをご提案しています。



» 新規顧客への取り組み

宅配業界における再配達の抑制手段として注目されている、戸建住宅向け「宅配ボックス」を発売しました。

新しいニーズに対応した製品のため、新規顧客開拓として、DIY教室の開催やSNS広告、プロモーション動画、専用パンフレットなど一般の方にも親しみやすいプロモーションを展開しました。



■DIY教室の様子



開 発 本 部 お客様とともに

お客様の喜びにつながる 新たな価値を創造



私たちの想い

平均年齢20代の若手プロジェクトメンバーで
企画・立案・開発を行いました。

EVインフラ事業室開発一課 | 野口 智大

電気自動車の普及に伴い、お客様の充電環境を整えるために「Pit-C3」を開発しました。

『ユーザビリティやデザインにこだわった製品』がテーマとなるPit-C3は、右図の3つの製品で構成しています。3つ全てをセットで使用したり、既にEV・PHEV用のコンセントが設置されている場所にはコントロールボックスホルダーやコネクタホルダーを追加したりと、お客様の設備状況により組み合わせて使用することができ、設置景観に調和するデザインとなっています。

電気自動車(EV・PHEV)用充電器シリーズ

Pit-C3





潜在的な課題やニーズを発掘し、社会に必要とされる製品開発

わたしたち開発部門は、「お客様へ提供できるモノは何なのか?」「本当にお客様が求めているコトは何なのか?」、原点を見つめなおし、顕在化されているものだけではなく、潜在的な課題やニーズを発掘していきます。「日東工業の製品を使って良かった」と喜んでいただけるよう、社会の持続的発展に貢献できる製品開発にチャレンジします。



開発本部長 箕浦 浩

2018
年度
実績

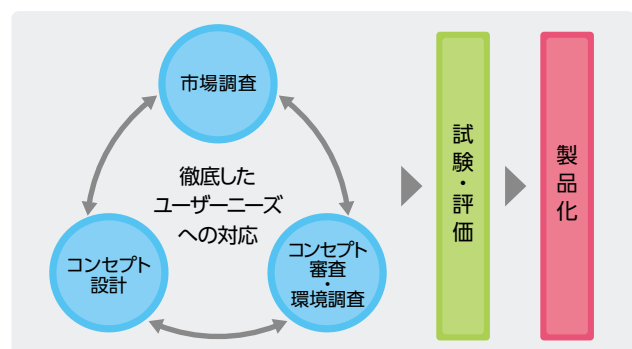
- スタートアップ企業との協業開始
- 高機能感震ブレーカー実証実験(E-ディフェンス)
- 戸建住宅向け宅配ボックスの開発
- グリーンフィット3件、グリーンサポート3件

2019
年度
目標

- マーケティング、開発機能の強化
- 自由にクリエイティブな活動ができる体制を構築
- 環境に配慮した製品開発体制の継続

製品開発

「すべてはお客様のために」と、さまざまな角度から市場調査を行い、作業性・保守性・信頼性を追及した製品開発をしています。高い技術から生み出される製品は「高品質」、「高機能」、「低コスト」に加え「省資源化」、「リサイクル性」、「有害物質の廃止」など、環境負荷の低減を実現しています。



付加価値の高いモノづくりの実証研究

愛知県豊田市にある『知の拠点あいち 新エネルギー実証研究エリア』にて、独立電源システムを用いた防災システムの検討や設置環境をリアルタイムで把握できる監視カメラ・環境センサーの設置・運用について実証研究を行っています。



知の拠点あいち 新エネルギー実証研究エリア

環境配慮設計

製品開発時に、省エネルギー、小型化、軽量化、リサイクル性や含有化学物質などの環境影響について評価しており、環境負荷を低減する「環境にやさしい製品開発」を進めています。



当社の環境基準を達成した製品を「グリーンフィット」に認定しています。「グリーンフィット」は、製品の小型化、軽量化、省資源、リサイクル可能率の向上、環境汚染物質の撤廃などをテーマとして環境負荷の低減を実現した製品です。



地球環境を配慮した事業を支援する製品を「グリーンサポート」に認定しています。「グリーンサポート」は環境事業をテーマとして環境負荷の低減を支援する製品です。

感震機能付
スリム
3Pブレーカー



- 製品体積 87%小型化
- 製品質量 75%軽量化
- 梱包質量 50%削減

電気自動車
(EV・PHEV)用
充電器シリーズ
Pit-C3



EV・PHEV用コンセント



コントロールボックスホルダー



コネクタホルダー



- クリーンエネルギー自動車導入事業



人 事 部 従業員とともに

個性尊重の精神に基づいた 企業活動



私たちの想い

気づくことが成長の原点です。さらなる人材育成につながる研修を企画します。

人事部 人材開発課 | 太郎館 季寛

人材開発課では、従業員の採用活動はもちろんのこと、入社から定年退職まで、研修や教育の企画および実施業務をととして従業員の成長をサポートしています。最近の研修は、講師からの話を一方的に聴くだけの場ではなく、受講者同士が議論をするといった形式に変化してきています。その代表的なものが「社長塾」であり、当社の社長自らが講師となり、企業人として知っておくべき会社の基礎や経営戦略の講義に加え、会社と個人の成長について受講者と共に議論し共有する場です。参加者の議論に我々も大きな刺激を受けていますが、今後も、何らかの「気づき」があり、「さらなる成長のきっかけ」になる研修を企画していきます。



社長塾





私たちは一人ひとりの個性を尊重し、能力を活かす職場環境づくりを目指します。

人材こそ企業活動の源です。仕事を通じて個々の専門性や人間形成に磨きをかけ、社内はもとより社外またはグローバルに活躍できる人材を育成していきます。
一人ひとりのワークライフバランスを大切に、いきいきと働くことができる職場環境づくりに取り組んでいます。



人事部長 佐藤 嘉高

2018
年度
実績

- 時間外労働の低減
- リフレッシュ休暇制度の取得率99%
- 育児休業者の復職率100%達成

2019
年度
目標

- 時間外労働の低減
- 育児休業者の復職率100%達成
- 有給取得率の向上

人材育成

「企業は人なり」との理念のもと、「正直な心と誠実な姿勢を貫く」さらに「価値創造の追及に努める」を行動指針として、人材開発に取り組んでいます。これらを具現化するために明確な教育体制を組み、階層別教育をはじめ各種専門教育による技能教育を推進しています。また、一般教養を高めるべく、自己啓発の支援制度の充実にも力を注いでいます。

階層別教育	新人 ■入社時研修 ■フォローアップ面談 監督・指導 ■監督者新任研修 ■監督者強化研修 統率・管理 ■管理者新任研修 ■管理者強化研修 ■上級管理者研修 <td>入社してから、個々の能力に応じ階層別の教育を行います。</td>	入社してから、個々の能力に応じ階層別の教育を行います。	
専門教育	■技術・開発 ■生産 ■営業 ■品質管理 ■総務 ■経理 ■人事・労務 ■その他		配属された職種別に必要とされる知識・技能を身に付けます。
共通教育	■キャリア開発研修 ■安全・衛生 ■公的資格取得 ■社外セミナー派遣 ■企業倫理 ■その他		社内外にて共通に求められる知識を身に付けます。
自己啓発	■通信教育 ■その他		自己のスキルアップを目指す社員を支援します。

働き方改革

身体、精神的な負担を減らし安心して働くことができる環境をつくるために、長時間労働の削減に積極的に取り組んでいます。

また、フリーバカンス制度をはじめとした年次有給休暇の取得促進や、勤続年数により利用できるリフレッシュ休暇制度などを充実させ、その制度利用を促進しています。

● 時間外労働の上限時間および産業医面談の実施基準の推移

(単位：時間)

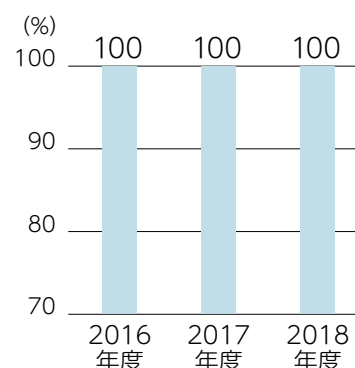
	2017年度	2018年度	2019年度
年間上限時間	690	650	650
36協定 特別条項 締結内容			
月間上限時間 (努力目標)	100 (80)	80 (60)	80 (60)
産業医面談 当社実施基準			
月間時間	80	60	60
直近2ヵ月 合計時間	140	110	110

ワークライフバランス

従業員の価値観やライフスタイルが多様化する中、仕事と家庭の調和(ワークライフバランス)を図るため、各種社内制度の整備を進めています。2016年7月には育児短時間勤務制度を拡充(利用対象を3歳児までから小学3年生(9歳)までに延長)など、新たな対策も導入され、対象者の多くが利用しています。なお、近年の育児休業制度の取得率・復職率は100%であり、子育て世代の従業員が安心して働ける環境を整えており、2016年には近年の子育て支援に関する活動が認められ、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣による「くるみん認定」を受けています。



● 育児休業復職率





生産本部 取引先とともに

高い倫理観、道德観に根ざした コンプライアンス経営を実践



私たちの想い

ルーキーのSpiritが 日東工業の未来を切り開く

生産技術部 設計課 設備設計係 | 牧村 賢也

生産本部では現在、IoT(Internet of Things)やAI(人工知能)、協働ロボットといった先端技術の導入を積極的に推進しており、私の所属する生産技術部はまさにその中核を担っています。特にAI(人工知能)はコンピュータの進化と共に多くの分野で広がりを見せ、今や人間以上の思考を持つとまで言われていますが、製造分野での運用については未知数な部分も多く、社内でも導入実績が無いことから非常に興味深いテクノロジーです。

そんななか、若手の技術育成を目的とした新鋭グループが部内で結成され、奇しくもAIをテーマにした企画にチャレンジすることになり、私も中心メンバーとして参画することになりました。当初、AIに関する知識はメンバー全員あまりありませんでしたが、展示会やセミナー、情報誌などで得た情報をメンバー全員でセッションし、社内で初となるAIの画像検査工程を自分達の力だけで企画することができました。

現在、企画を具現化するためメンバーそれぞれが得意な分野を担当し、日々切磋琢磨しながらAI画像装置の製作に取り組んでいる最中です。新しいことにチャレンジするのは凄く大変ですが、今回はそれを上回るSpiritの重要性を学びました。





「顧客価値創出に向けたQCD」お客様の満足を得るものづくり

最適な品質、コスト、納期を実現するために「長年培った生産ノウハウと生産技術力の融合」ならびに「品質と生産性の両立」にこだわり続けていきます。そして地球環境に配慮したものづくりを進めて、お客様の新たな価値創出に向け挑戦し続けていきます。また、お客様によりレベルの高い製品を提供するには、当社のみならず、お取引先様のご協力は不可欠です。良きパートナーとして相互発展を図り、顧客満足創出のため、お取引先様と一体となったコンプライアンス活動を推進しています。



生産本部長 落合 基男

2018
年度
実績

- 顧客要求品質に応える体制を構築
- コスト削減を極める
- フレキシブルな生産体制の構築
- 生産技術力の強化

2019
年度
目標

- 海外を含めたグループ全体での生産（購買含む）体制を構築
- お客様に喜んでいただける品質・コスト・スピードの実現
- 生産技術力の強化
- 生産性の見える化と向上
- 需要・戦略に合わせたフレキシブルな生産体制の構築

» 公正・公平・透明な取引

- 購買部門では「法令遵守・企業倫理」を重視し、当社独自で作成した「購買部門行動計画」に基づき、調達活動に取り組んでいます。
- お取引先様の「品質・価格・納期・技術力」および、「環境への配慮・保全」などを総合的に判断して、「公正・公平な評価・選定」を行い、透明性のある取引を行っています。
- 購買担当者は、必要な知識や関連法規の習得に努めています。特に下請法教育については、中小企業庁委託「下請取引改善講習会」の受講を義務付けるなど、さらなるコンプライアンス向上を目指しています。

» お取引先様との信頼関係

正しいコンプライアンスの実施には、お取引先様とのコミュニケーションは不可欠だと考えます。そのため購買部門は、Face To Faceでの意思疎通を図るため、「賀詞交換会」や「取引先監査」を定期的に行っています。これらの機会は、コンプライアンス活動を維持確認するのみでなく、お取引先様との信頼関係構築に繋がっています。



» 技術・技能伝承の取り組み

長年培った「コア技術・技能」を伝承していくため、「ラーニングセンター」の機能的な運営に努めています。競争力の源泉でもある「現場力・技術力」を高め、お客様からの信頼ならびに満足いただけるよう、努めています。

【ラーニングセンターの役割】

- 1 会社全体の技術レベルのベースアップ維持
- 2 技能・ノウハウの伝承と次世代の人材育成
- 3 社員間交流による知識の創出



■ 安全体感装置による【安全教育】



■ 5S・整理整頓トレーニング

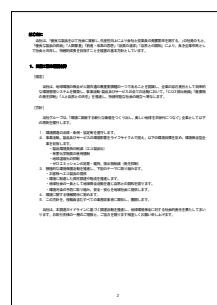


■ モノづくりトレーニング

» グリーン調達・環境への配慮

「低環境負荷への取り組み・地球環境に配慮した製品化・含まれる有害化学物質への関心」は年々高まる傾向にあります。

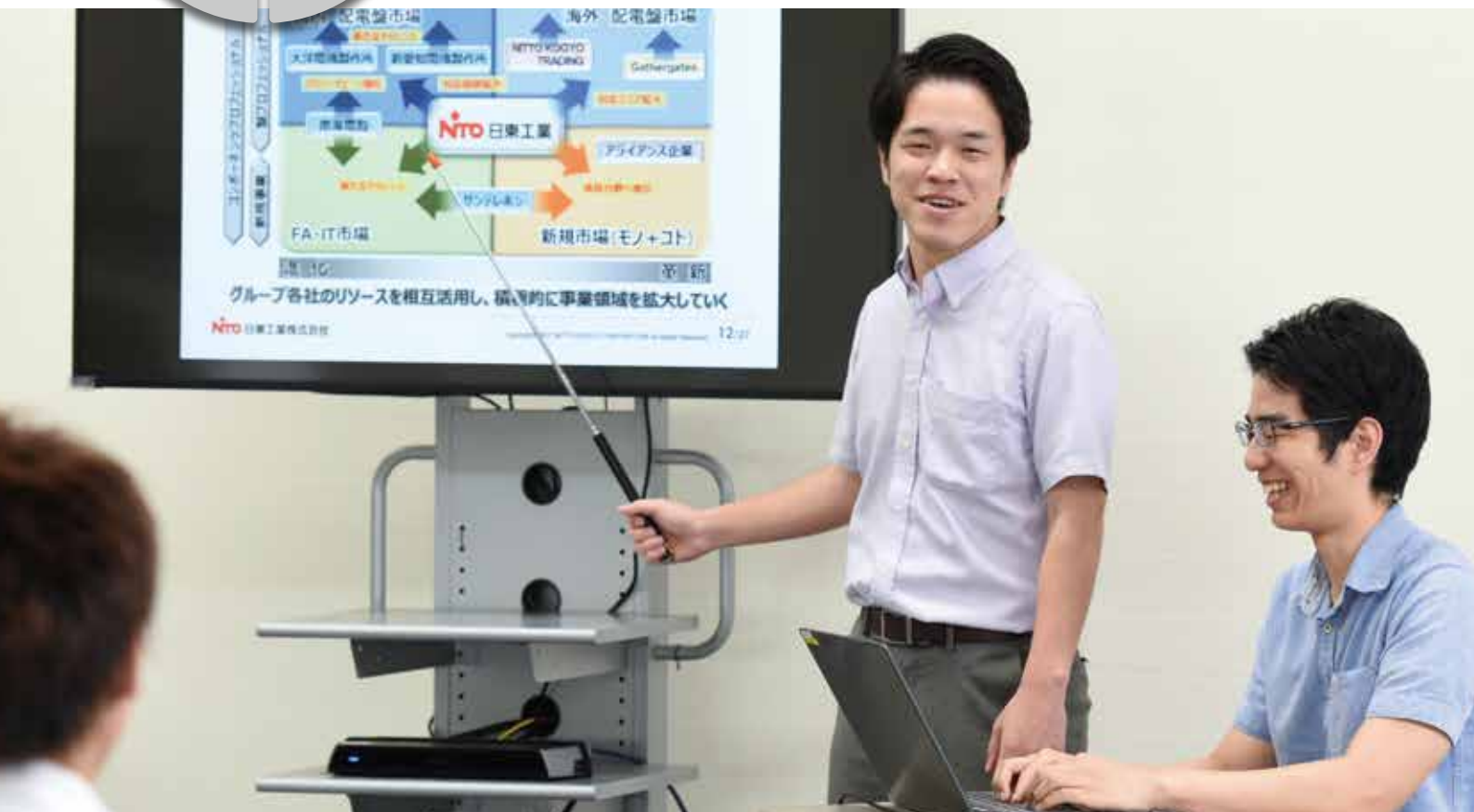
当社では、環境取り組みへの基本的な考え方と、お取引先様へのご協力をお願いする「グリーン調達ガイドライン」を定めて、さらなる顧客満足向上を目指しています。また、RoHS（特定有害物質使用制限）指令はもちろんのこと、JGPGSSI（グリーン調達調査共通化協議会）に準拠した部材への切替を推進するとともに、廃棄物減量化の推進や、輸送による環境負荷削減（アイドリングストップ・輸送の合理化）など、お取引先様と一体となって環境活動に取り組んでいます。





総務部 株主とともに

株主価値を高める 経営を実践



総務部 法務課

和多田 亮



総務部 総務課

金森 一樹

私たちの想い

社外と社内の2つの
方向から
企業価値の
向上を目指します。



企業認知度、企業価値向上のためには、IRや適時開示を通じて直接社外に情報を発信することだけでなく、従業員一人ひとりが自社のことを一番に理解し、それを対外的に発信する術を持つことが重要となります。これを踏まえて本年度は、従業員が自社をより深く理解し、それをどのように社外の方に伝えれば良いかを考えることを目的に、従業員向け会社説明会を開催しました。社外と社内、2つの方向からアプローチを行うことで、より多くの株主・投資家の方々に当社を正しくご理解いただけるよう、邁進していきます。





株主・投資家とのコミュニケーションの充実を図る

過去の成功を守ることや目先の利益を追うことを優先し、未来への投資を後回しにするようなことはしません。株主価値を最大化する中長期的な成長と持続的な利益の創出を経営目標として、変わらず良い会社であり続けるために改善・改革を日々積み重ねます。

成長シナリオを分かりやすく開示し、当社の目指す姿、当社の強みを一人でも多くの方にご理解いただきたいと思います。また、株主の皆様との対話の中でいただいた意見を経営にも反映させていきたいと考えています。日東工業という会社を正しくご理解いただき、適正な評価をいただけるよう説明責任を果たしていくことがわれわれの使命です。



総務部長 蔵 辰紀

2018年度実績

- 2019年3月期 配当金40円(中間20円・期末20円) 配当性向40.0%(9期連続配当性向30%以上)
- 名証IRエキスポ2018出展
- 日経IR・投資フェア2018出展
- 機関投資家One on One ミーティング実施(各四半期)
- 機関投資家・アナリスト向け決算説明会 2回
- 個人投資家向け会社説明会 2回
- 従業員向け会社説明会の実施

2019年度目標

- 2020年3月期 配当金50円(中間25円・期末25円) 配当性向31.1%
- 名証IRエキスポ2019出展
- 日経IR・個人投資家フェア2019出展
- 機関投資家One on One ミーティング実施(各四半期)
- 機関投資家・アナリスト向け決算説明会の開催
- 個人投資家向け会社説明会の開催(東京・名古屋)

IR活動の充実化

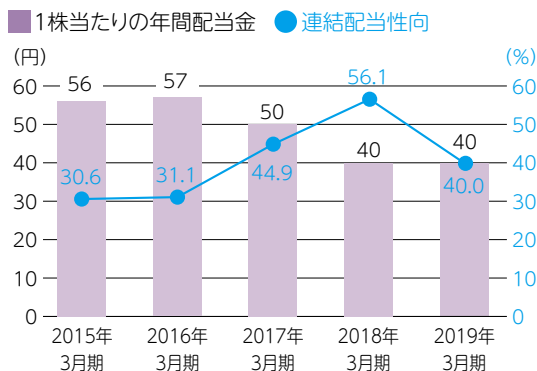
株主・投資家の皆様とのコミュニケーションを活発化するために、IR活動に注力しています。近年は名古屋だけでなく、東京にも活動の幅を広げており、個人投資家向けIRイベントへの出展や機関投資家向け決算説明会の開催を通じて、他地方の株主・投資家の方々とも継続的に交流できるよう努めています。本年度は、昨今のインターネット証券の普及に着目し、より多くの投資家の方々に当社をご認知いただくため、口座開設者数国内上位の楽天証券株式会社のウェブページに社長インタビューを掲載するなど、新しい試みにも取り組んでいます。



株主還元

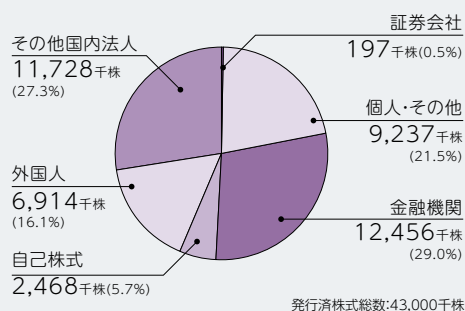
株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要政策のひとつとして位置づけています。利益配分につきましては、株主の皆様への安定的な配当を維持することを基本に、連結配当性向30%を目標に連結純資産配当率等を勘案して実施しています。また、必要に応じて、自己株式の取得・消却など資本効率向上のための諸施策を実施し、株主の皆様に応えています。

● 1株当たり年間配当金／連結配当性向の推移



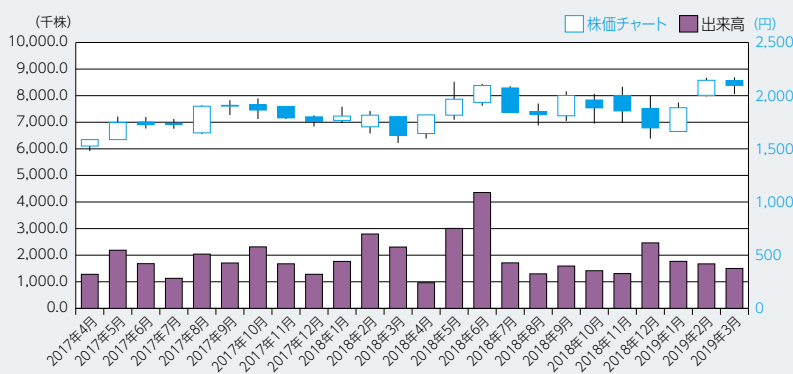
株式の状況

● 所有者別分布の状況(2019年3月31日現在)



※四捨五入の関係上、100%とならない場合があります。

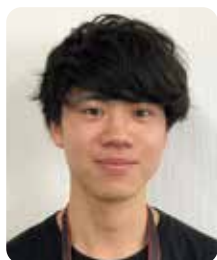
● 株価チャートと出来高の推移





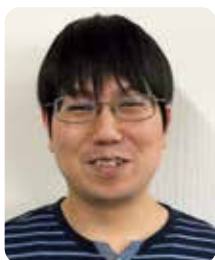
施設環境室 地球環境のために

新しい価値を作り出すことで 社会へ貢献



栃木野木工場 IT機材技術課

石原 愛朗



栃木野木工場 IT機材技術課

増田 進也

私たちの想い

豊かな自然を
守るために
私達にできること

システムラック専用の製造工場である栃木野木工場より程近い場所にある渡良瀬遊水地は、栃木、埼玉、茨城、群馬の4県にまたがる日本最大の遊水地であり、2012年にはラムサール条約湿地に登録されました。数多くの野鳥や植物、昆虫、魚などが生息する自然豊かな場所である一方、明治時代には、足尾銅山鉱毒事件の影響を受け、日本の公害問題の舞台となった場所でもあります。この渡良瀬遊水地の環境保全に関わりたくと、今年で19回目となる「渡良瀬遊水地クリーン作戦」に参加しました。遊水地の7カ所に清掃拠点が設けられ、約5千人が参加し、当社からも約20名が参加して地域の皆様と共に清掃をしました。

歩道にごみはほとんどありませんでしたが、少し草むらに入ると大量のごみがあり、人目につきにくい場所は、定期的に清掃する必要がありますと改めて実感しました。これからも豊かな自然を守るために、地域の環境保全活動に取り組んでいきます。



「渡良瀬遊水地
クリーン作戦」の
参加者



美しい地球を次世代へつなぐためにできること

今、「持続可能な社会（明るい未来）」を目指す上で、

① 低炭素社会 ② 循環型社会 ③ 自然共生社会 を構築することが、重要とされています。

当社は、環境方針「環境に貢献する新たな価値をつくり出し、美しい地球を次世代へつなぐ」とし、地球環境に配慮した製品づくりを進めることで、こうした3つの社会の構築に貢献しています。



施設環境室長 安藤 多人

2018
年度
実績

- CO₂削減／2016年基準8.5%削減
- 排出量の削減／2016年基準原単位20%削減
- エコ製品認定率／100%
- 有害物質の使用規制／5製品中4製品がCMS(製品含有化学物質管理)基準に適合

2019
年度
目標

- CO₂削減／2016年基準3%削減
- 排出量の削減／2016年基準原単位1.5%削減
- エコ製品認定率／70%以上
- 有害物質の使用規制／CMS要領の運用管理

» 自然共生社会を目指して

私たちの事業活動は、製品を製造する上で、材料・水といった自然の恩恵を受けて成り立っており、その事業活動によって自然を破壊してしまえば持続可能な社会を構築することはできません。当社では、以下の地域貢献を進めています。

「企業の森づくり活動」の取り組み

東北日東工業(株)

2012年に岩手県・花巻市・東北日東工業(株)の3者間で「企業の森づくり活動」の協定を締結して以来、毎年森林保全活動を実施しています。2018年度は、胡四王山の草刈りなどを2回実施しました。2017年度からは、エリアを広げ緑化保全活動も進めており、宮沢賢治が愛した花巻市の美しい自然環境を次世代に残せるよう、今後も活動に取り組んでいきます。



「間伐・植樹作業」への参加

磐田工場

静岡県では、基本理念である「持続可能な水循環社会の形成」に向け、安定した地下水利用と保全が両立できることを目標として地下水保全対策を実施しています。磐田工場では、地下水を利用している立場として、中遠地域地下水利用対策協議会に加入し、さまざまな環境保全活動に協力しています。2018年度は、磐田市敷地外四ヶ字財産区所有地にて、間伐作業と「もみじ」の苗木200本を植樹する活動に参加しました。



» 低炭素社会を目指して

私たちは、地球温暖化の抑制を図り、低炭素社会を目指すために、以下の活動を進めています。

- クリーンエネルギーの提供
- 省エネに寄与する設備の導入
- 業務改善によるエネルギー使用量の削減 など

ライトダウンキャンペーンへの参加

本社・名古屋工場、菊川工場、磐田工場、掛川工場

当社は、環境省が実施してきた「CO₂削減／ライトダウンキャンペーン」に継続して参加しました。2018年度は、看板灯のある工場(本社・名古屋、菊川、磐田、掛川)で、キャンペーン実施日の6月21日と7月7日に実施しています。



■ 通常



■ キャンペーン期間

» 循環型社会を目指して

限りある資源を大切にするために、私たちは以下の排出物削減に取り組み、循環型社会の構築に寄与していきます。

- 2003年度に達成したゼロエミッションを維持
- 分別の徹底による資源の有効活用
- 廃棄物処理業者を定期的に訪問し情報収集
- 業務改善による排出物の発生抑制 など

産業廃棄物処分場の視察

全社

不法投棄が社会問題化している現在、産業廃棄物処分業および運搬業の取引先と安心した信頼関係を築くことが重要と考えます。当社では社内認定を受けた社員が産業廃棄物処分場を定期的に訪問し、指定のチェックシートに従って処分状況・マニフェスト管理状況・5S管理状況などを確認、評価しています。当社が引き渡した産業廃棄物が適正に処理されていることを確認すると共に、環境負荷低減に努めている取引先とのお付き合いを深めています。





役員紹介（2019年6月27日現在）



取締役 (非常勤)	監査等委員である 取締役	監査等委員である 取締役	監査等委員である 取締役	監査等委員である 取締役	監査等委員である 取締役
榎本 雅之	森見 哲夫	新海 雄二	二宮 徳根	岩佐 英史	中川 深雪
情報通信関連流通事業担当		社外取締役	社外取締役	社外取締役	社外取締役

常務取締役	取締役社長(代表取締役) CEO	取締役会長(代表取締役) Chairman	取締役副社長 COO	取締役
中嶋 正博	佐々木 拓郎	加藤 時夫	黒野 透	落合 基男
品質統括部 内部統制室 施設環境室担当	経営企画統括部 広報室担当		経営管理本部 開発本部 営業本部 生産本部 海外本部 事業企画室 EVインフラ事業室担当	生産本部長委嘱

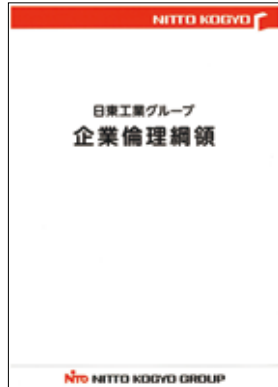
コンプライアンスは企業活動を支える重要な基盤

コンプライアンス体制の整備は、健全で効率的な企業活動を支える重要な基盤であり、これからも社会に信頼され貢献する企業であり続けるためにも、ますます重要になっています。

日東工業グループは、設立以来、優良な製品とサービスを創出することで、株主をはじめ販売先や仕入先、地域の皆様との信頼を構築してきました。この信頼は、多くの先輩方による誠実な行動と日々のたゆまぬ努力によって作り上げた宝物です。これらを一層高め、次世代に伝えていくことは、日東工業グループに帰属する私たちの責務であると考えています。

コンプライアンスの浸透活動

日東工業グループの全役職員が共通の価値観をもち、コンプライアンスについて理解、実践していけるよう「日東工業グループ企業倫理綱領」を作成し、全役職員に配付しています。また、毎年「企業倫理職場会」を開催し、コンプライアンスについて話し合う場を設けるなど、個人レベルまで浸透させる活動を行っています。



通報窓口の設置

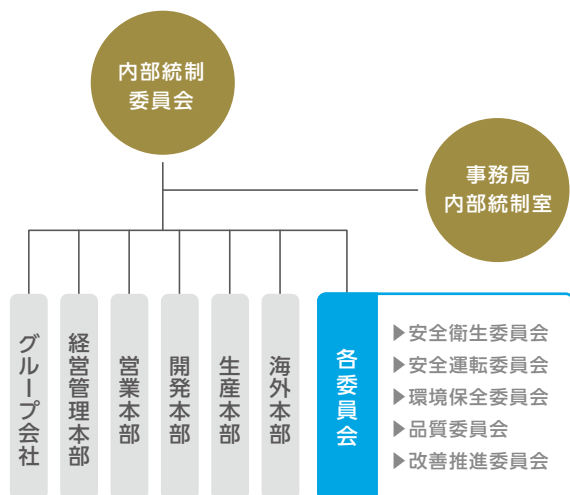
企業倫理綱領に反する行為を早期に発見し、解決するために、グループ全体の共通窓口として「ヘルプライン」と海外対応も可能な社外相談窓口「社外ホットライン」を設置しています。相談したことにより不利益を被ることがないこと、また相談内容が外部に漏れいすることがないように徹底し、公正な調査のもと、問題の改善や再発防止策を策定しています。

内部統制システムの構築

取締役会で決議した「内部統制システムの基本方針」に基づき、役職員およびすべての業務従事者により内部統制システムの構築を図っています。

グループ全体の内部統制を統括・推進する組織として「内部統制委員会」を設置し、下部組織として「安全衛生委員会」「安全運転委員会」「環境保全委員会」「品質委員会」「改善推進委員会」などを設置するとともに、各本部を通じてコンプライアンス遵守、業務の適正性・効率性、リスク管理、財務報告の信頼性を確保するための体制を整備・運用し、さらなる内部統制の充実を図っています。

■内部統制委員会 組織図

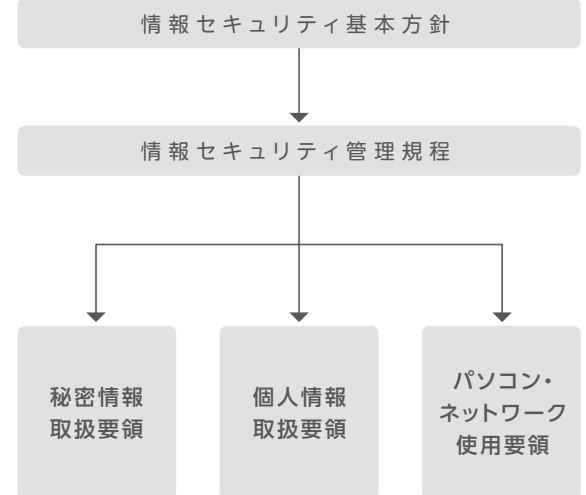


情報セキュリティ管理

情報管理においても顧客や取引先の信頼に応えることは、何より大切なことです。

情報には、流出、盗難、紛失などのリスクが常に存在します。そのため当社では、顧客や取引先からお預かりした情報はもとより、社内の機密情報を安全かつ適切に管理・運用するために情報セキュリティ基本方針を策定し、情報セキュリティ対策を実施しています。

また、情報セキュリティ管理レベルの向上を図るため、課長以上にeラーニングによる社内教育を実施するとともに、定期的に情報セキュリティ監査を実施し、職場での意識向上に努めています。





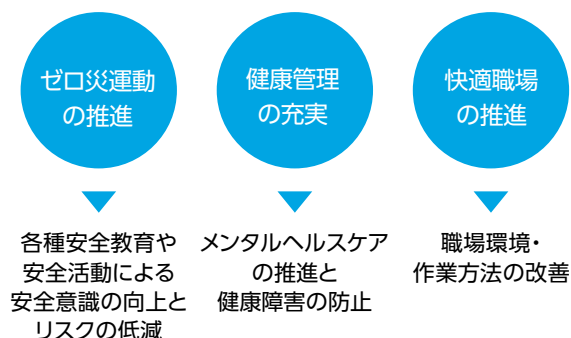
安全・安心な職場づくり

Create a Safe & Secure Workplace

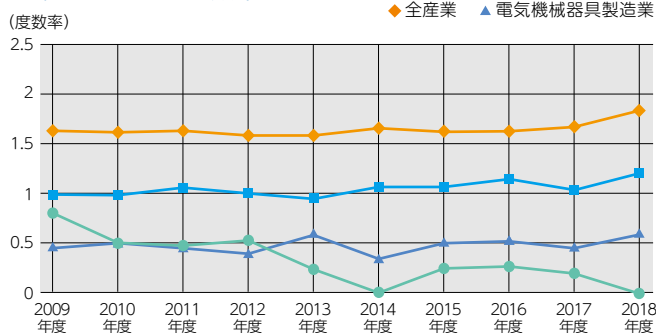
本社の「安全衛生総括者」が中心となって安全管理体制を整備し、従業員がいきいきと安心して働ける快適な職場づくりを目指しています。

安全衛生への取り組み

「安全を築き、健康を保つ」をスローガンに、従業員の安全と健康を守るよう安全衛生活動に取り組んでいます。



●業務上災害の度数率



度数率…100万時間当りの死傷者数
※日東工業グループの数値は派遣社員含む

安全衛生活動

危険予知訓練(KYT)、ヒヤリハット報告などの安全活動による従業員の安全意識の向上、リスクアセスメント活動によるリスクの低減、安全衛生・5S巡視、産業医巡視、経営トップ層による巡視などの職場巡視活動、メンタルヘルス教育の実施など、健康で安全に働ける職場づくりに努めています。



フォークリフト安全講習会



産業医巡視

交通安全への取り組み

地域住民の安全と社員の交通マナー向上のため、毎月10日に各工場周辺で交通立番を実施しています。

また、車通勤の社員や、車両運転責任者には年1回の安全運転講習の実施、通勤事故防止3か条(1.早めの出勤を心掛ける 2.抜け道・近道をしない 3.退社帰宅時に急がない)の推進、駐車場で事故撲滅運動、全社有車にテレマティクス車載機を装着して車両の速度超過・急発進・急停車などの運行状況を把握するなど、安全運転確保に取り組んでいます。

災害対策への取り組み

大規模災害などの緊急事態に備え、事業資産の損害を最小限にとどめ、中核事業を継続するための早期復旧を可能とするため、BCP(事業継続計画)の定期的な訓練や、工場ごとに放水訓練・避難訓練などの防災訓練を実施しています。また、負傷者の対応をするため、各工場・職場に救急隊員を任命し、毎年定期的に応急処置の訓練や、AED(自動体外除細動器)の操作訓練を実施しています。



社会貢献① ～アートをもっと身近に～

Contribution to society 1

日東工業では、創業者の「働く人の人生の大部分を占める会社を、実りある生活環境にしたい」との思いから、国内全工場・営業所の随所に絵画や彫刻などの芸術作品を配置しています。また、各工場の敷地内には植栽など緑も豊富であり、「公園工場」として社会環境と自然環境の融和に取り組んでいます。

ここでは各工場に配置している芸術作品の一部を紹介します。

彫刻の道

地域の人たちとの触れ合いの場として、1991年に本社・名古屋工場の北側道路沿いにオープンギャラリーをつくりました。

愛知県立芸術大学の先生や学生が手がけた彫刻作品10点を展示し、地域の人たちが身近に芸術鑑賞できる憩いの場を提供したいという思いから、社員募集で「彫刻の道」と命名されました。



夜間はライトアップ!

本社・名古屋工場



海辺の女
(池田満寿夫作)



躍動
(小池郁男作)

上場
記念



しろいひかりのー五〇ーくろ
(元永定正作)

栃木野木工場



赤富士
(鈴木武夫作)



ヴァイオリン
(中垣克久作)



若い女
(池松一隆作)



菊川工場・磐田工場・掛川工場



道標
(小池郁男作)



Space-Q
(小池郁男作)



宇宙ダコ[2009-4]
(小池郁男作)



少女
(鈴木政夫作)

中津川工場



虚空
(小池郁男作)



四角いデータ
(小池郁男作)

東北日東工業



風に舞う
(鷺見香治作)

唐津工場



青い基調の鳥と花束
(ポーズ・アイズピリ作)



Space-D
(小池郁男作)



回転する花皿
～風の吹く丘に続く道～
(佐々木悦也作)

社会貢献② ～地域に”寄り添う”企業を目指して～

Contribution to society 2

日東工業では、地域社会の一員として地域に密着した社会貢献活動を実施しています。未来を担う子どもたちへの教育や、地域の方々が住みやすいまちづくりを実施することで、さまざまなステークホルダーの満足度向上を図り、企業価値を高める活動に取り組んでいます。

NITO が取り組む理由

- ・子どもたちへの理科教育
- ・住みやすい“まち”づくり
- ・地域社会とのCONNECT!
- ・地域を元気に活性化!

ながくてサイエンスフェスティバルへ出展 ※ 本社・名古屋工場

愛知県長久手市で開催される「ながくてサイエンスフェスティバル」に出展しています。子どもたちが理科に関する工作とゲームを体験することで、モノづくりをとおして理科の大切さについて考えるプログラムです。2018年度は「静電気」と「磁石」を学ぶ企画でした。選抜されたプロジェクトメンバーにとっても、通常業務とは異なる経験ができる貴重な機会となっています。

リーダーの想い

情報システム部
システム一課

安部 雄太



若手社員チームでの企画・製作・運営は大変でしたが、将来を担う子供たちへの想いや考えを形にできることは面白く、やりがいを感じました。企画「自作金属探知機で宝探し」「静電気くらげと空中散歩」の工作物である探知機とくらげの設計を何度も見直すことで、安全な工作・体験と持ち帰りできる工作物を実現しました。楽しい体験から理科を少しでも好きになってもらいたいと考えていました。

出展したブースで見ることができた子供たちの笑顔は忘れられません!

プログラム



制作に必要な
材料の受取・説明



手順書を見ながら
工作



原理を学ぶ



ゲームで
原理を体感





地元地域の清掃活動へ参加 ≪ 本社・名古屋工場

地域との共生”をモットーに、本社・名古屋工場では年2回、従業員やその家族、友人が集まり、地域住民や近隣企業の方々とともに地域の清掃活動を行っています。毎回40名以上が参加し、地元の住みやすいまちづくりに貢献しています。



工場見学 ≪ 本社・名古屋工場

愛知県長久手市の小学3年生を対象に、毎年工場見学を実施し、生産ラインや電気の仕組みを体験するコーナーなどをとおして、子どもたちへ電気の大切さを伝えています。



野木町産業祭への出展 ≪ 栃木野木工場

栃木県野木町で開催される産業祭に出展しています。毎年多くの方が来場されています。地域の活性化への貢献と、地元の方たちへの感謝とふれあいを大切に活動しています。



電気の仕組みが分かる「オリジナル釣竿」を寄贈

小学校の子どもたちに楽しく電気の仕組みを学んでもらうため2017年度のながくてサイエンスフェスティバル(NSF)で制作した日東工業の「オリジナル釣竿」を愛知県長久手市と瀬戸市の小学校2カ所に寄贈しました。このオリジナル釣竿は電磁石の原理を用いており、理科の授業や夏休み理科教室などでも活用されています。日東工業は今後も子どもたちへの理科教育を継続的にサポートしていきます。



2017年度の様子



当日の配布資料



瀬戸市立
幡山東小学校
伊藤 夢野 先生(右)
NSF2017リーダー
中島 卓也(左)



夏休み理科教室での
イベント風景



中津川市長杯中核工業団地 『三木会ふれあい大会』に参加 《中津川工場

中津川工業団地各企業代表13チームが参加する「トリムバレー大会」に出場しました。表彰台には届きませんでしたが、第4位という素晴らしい成績をおさめることができました。若手従業員も多く参加し、年齢の垣根を越えた交流ができたほか、地域の方々との交流にもつながっています。



『花巻まつり』の 一般神輿パレードに参加 《東北日東工業

東北日東工業は花巻工業クラブに属しており、毎年開催される花巻まつりに参加しています。このおまつりは神輿の数がギネスに登録されるなどの盛大なイベントで、一般神輿パレードでは従業員が神輿を担ぐなど、地域の活性化に貢献しています。



心臓マッサージの訓練評価システム 『しんのすけくん』設置 《本社・名古屋工場、菊川工場

心肺蘇生法（心臓マッサージ）の訓練ができる「しんのすけくん」を本社・名古屋工場と菊川工場に1台ずつ設置しました。心臓マッサージ時に重要な要素の圧迫位置、圧迫の深さなどを検知し、実施状況のリアルタイム表示や、音声アドバイスがあります。従業員の訓練の質やモチベーション向上に貢献しています。



ながくてアートフェスティバル 『さわるみゅーじあむ』出展 《本社・名古屋工場

「小さな子供からすべての人に、さわって・みて・鑑賞する」をテーマに『さわるみゅーじあむ』を開催しました。実際に触ることができる美術品を出展し、子どもたち向けにワークショップを開催するなど、美術品の素晴らしさを体感してもらいました。





Corporate
Social Responsibility
REPORT

2019





ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。



日東工業は、Fun to Shareに賛同しています。



ノンVOC(Volatile Organic Compound)インキ

植物油インキの比率をほぼ100%に高めたもの。大気中への有機化合物の揮発はほとんどありません。



FSC®認証用紙

この印刷物には、FSC®認証用紙が使用されています。



Waterless

印刷時に有害な廃液がでない「水無し印刷」で印刷しています。

NITO 日東工業株式会社

2019年10月発行

発行部署／お問い合わせ先

広報室

〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地
TEL (0561) 64-0123 FAX (0561) 62-3216

<https://www.nito.co.jp/>

SP-660 9110.4309SSSN
OM10ILCS6